

2004 年度 委員会活動成果報告

(05 年 3 月 3 日作成)

委員会名	山留め特殊設計検討小委員会	主 査 名：丸岡正夫
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (仮設構造運営委員会)	委員長名：西川孝夫 主 査 名：室田達郎
設 置 期 間	2002 年 4 月 ～ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<p>2002 年度に刊行した「山留め設計施工指針」で記述できなかった課題を抽出し、課題に関する文献・データの収集と検討により課題解決の考え方をとりまとめる。本委員会で検討する課題の大項目は以下の通り。</p> <p>①山留めの荷重と抵抗 ②山留め架構の計画と設計 ③近接施工の影響評価と対策 ④地下水対策</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>主査：丸岡正夫 (株)竹中工務店) 幹事：桂 豊 (清水建設(株)) 委員：青木雅路 (株)竹中工務店)、石井雄輔 (株)大林組)、石井善一 (大成建設(株)) 石川 明 (清水建設(株))、伊勢本昇昭 (戸田建設(株))、大西靖和 (エルメス計測工業(株))、佐藤英二 (株)竹中工務店)、田中俊平 (鹿島建設(株))、野田和政 (前田建設(株)) 宮崎祐助 (広島工業大学)、三宅紀治 (清水建設(株))</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>①山留めの荷重と抵抗WG：荷重 (土圧・水圧) と受働抵抗の検討 ②山留め架構の計画と設計WG：山留め架構の計画と設計法の検討 ③近接施工の影響評価と対策WG：周辺への影響予測法、計測方法と計測精度、および周辺構造物の許容値と管理値の検討 ④地下水対策WG：透水性の調査方法と精度および地下水に起因する諸問題検討</p>	
2004 年度予算	200,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	第 12 回 (5 月 25 日、11 名)、第 13 回 WG 合同委員会 (7 月 16 日、25 名)、 第 14 回 (10 月 22 日、9 名)、第 15 回 WG 合同委員会 (12 月 10 日、24 名)、第 16 回 (1 月 28 日、9 名)、第 17 回 (3 月 25 日予定)
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>2002 年度に刊行した「山留め設計施工指針」で記述できなかった課題に関する文献・データの収集と検討を行い、①山留めの荷重と抵抗、②山留め架構の計画と設計、③近接施工の影響評価と対策、④地下水対策の 4 項目について、得られた成果と今後の課題を「山留め設計の諸課題に関する調査・研究報告書」として取り纏めた。また、委員会で収集・整理した関連文献、実測データ、アンケート結果などを別途、資料編としてまとめた。</p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>当初の計画に従った活動を実施し、活動成果を「山留め設計の諸課題に関する調査・研究報告書」として取り纏めた。</p>
その他評価すべき事項	<p>本委員会で収集・整理した関連文献、実測データ、ヒヤリングやアンケート結果などについては、別途、資料編としてまとめた。これらは、今後の山留め設計施工技術の向上と将来に向けた指針改定にとって貴重な基礎資料となるものである。</p>